夕刊 磐城新聞
六月三十日發行
定價 一ケ月 金六拾五錢 [illegible] 發行所 磐城新聞社 [illegible]
（日曜祭日翌日休刊）

研究
愚庵の父母妹は何處で死んだか（五）
―禁轉載―
島田忠夫

◇奥野市治郎のその後に就いて、詳細に書くことを茲では控えねばならぬ。たゞ、彼の子孫が、今や全く廢絶の状態になつてゆく經路を略記しやう。

彼れ市治郎に、モヨといふ娘のあつたことを前記した。このモヨに養子に迎へたのは、當縣石川郡中田村の者で寅吉といつた。寅吉は天保十四年癸卯十二月十五日生れであつて、養子緣組した月日の詳細はいま判らぬ。

◇寅吉は性極めて兇暴、これらは養父市治郎の後繼としてまことに申分はない。しかも、彼れは一種の放火狂に近い男であつた。

彼れに二兒あるが、今生存する者もある故、名を記さぬ。

明治十二年頃のこと、この飯野村大字上荒川附近に頻々として放火があつた。昨夜は某家、一昨夜は何處といふ具合に、凡そ半月餘りも放火がつゞいた。この寅吉らしいと目をつけるまでには、餘程の時日が經つたのである。何故なら彼れの家は可なりの良家であるし（財産家といふ意味で）仕事欲しさに放火する日傭取りでもなかつたからである。しかるに、村民が一旦彼れに不審の目を向けると、立證し得る事象が續々と出現した。

◇そこで上荒川の醫王寺に村民が再三集合して、彼を捉へる機因を相談した。が、誰れも現行を見た者とてはない。はたと當惑したのである。

その日も集議があつて、村民の一同が集つたのに、寅吉だけは集合せず、代參として下僕の善右衛門といふのをよこした。（この男は仙臺の産、平山善右衛門といふ）すると善右衛門先づ口を切つて、わが郷國の仙臺の某村では、放火あつて、犯人の判明せぬ時は、人形送りとて、藁人形を作り、それを村中ひき廻し、竹槍で突き、刀で切りさいなみ乍ら山へ送る『人形送り』といふことをすると告げた。何事も迷信や因習で解決する村民のこと故、早速賛同を得、翌日はそれをやらうとまでになつた。

◇夕刻、下僕の善右衛門は主家へ歸つて、斯くと主の寅吉に話すと、寅吉は至つて不興である。果ては口汚く下僕を罵つた。下僕はでも御主人、あなたが犯人でなければ闘ひますまひと云ふと、胸に應へた寅吉、矢庭に奥座敷から鐵砲を持ち來つて、善右衛門を目がけて發砲した。幸ひ善右衛門は傷も負はず、そのまゝどん〳〵部落に馳け來り、村民に斯くと告げたので、何か事あらば捕へんと待ち構へてゐた村民は打ち勇んで寅吉を捕へ、駐在へ突き出したのであつた。これは明治十三年頃のことである。寅吉は、殺人未遂で、直ちに平檢事局へ曳かれた。かれは二三年投獄を喰つたのである。

初夏吟（二）
盛菊枝

うから等の恙なきこと言ひてより話題なくなりて茶を頂きぬ
物いひのなりにか白けて對ひつつ障子の桟の蠅を見て居り
打しめり雨もよひする小庭邊に紫草の花咲きにけり
しめりつつ匂ふいばらの色かなし春蟬の聲耳に透りぬ
ものなべて濕り勝なる部屋ぬちに鐵砲百合の花を活けたり

新刊紹介
△とまりび（創刊號）詩、短歌、民謠等を輯めた三十六頁の同人雜誌（一部二十錢小名濱町定西三三其社）

時代警句（杜翁）
○一切の人間的生活と云ふものは、要するに次の二樣の活動から成つてゐるのだ（1）自分の行爲を良心と調和せしめようとする活動若くは（2）從來の如き生活狀態を繼續したい爲に良心の命令を聞かない樣にする活動である…………（酒と煙草）

日 7月1日
△始めて官報を發行す（明治一六）△郡役所を廢す（大正一五）△造幣局貴金屬の品位檢定依賴開始（昭和四）△英國威海衛を租借す（紀一八九八）△伊太利統一の大業全く成る、此日撤地尼王ウヰクトル、エマニユルは八千の兵を率ゐて羅馬府に入り人民萬歲の聲と共に遷都式を行ひたり、是に於いて伊太利統一全くなる（紀一八七一）

一日一禪
○
橋横落照虹堪畫
樹鎖千門鳥自還

拈華微笑
◇家屋稅查覈の不當を指摘した井上氏。縣の態度が見ものだ
◇草いきれの山野を青訓生の馳騁豪快な夏の一點景だ
◇この暑さ。アイス屋與齒の三枚目から悦に入る
◇自力本願で豐間漁港修築、入黨迄しての他力本願よりエライ
◇今月も今日で六月とお別れ
○……○

講談
元祿名妓傳
小邑井小巴演
（宮野恒彦畫）
一二席

房『善兵衛私の念願の叶つたのは全く不思議なことなのだが、おまへの樣な忠義なものがあつたので神樣も夫れを思召て、斯うして下すつたのだらうと思ひます、お前の志しは死んでも忘れは致しません、只々何とも彼ともお詫の致し樣のないのは御兩親樣、我儘氣隨をさせようとて、是迄は育てては下さらなかつたに違ひないが、どうかャアお腹も立たうが御勘辨下さるやうにと！、お前からよく〳〵お詫をしてお呉れ』と涙ながら父母への詫言、勿論それは然うあるべきことで、御當節の新らしがつた女達のやうに自由戀愛を高唱し何でも彼でも好い男、意氣の投合したものとホームを作るそれが自分の權利で、男女の交情には親と雖も口ばしを容れる權利がないなどと力む方ではない、何しろ徳川時代の婦人には三從と云ふ事が嚴に行はれて居た、其の三從とは家にあつては父母に從ひ嫁入つては夫に從ひ、老ては子に從ふ……只今のお方から見ると、新らしがつた女でないにせよ、チト馬鹿〳〵しい氣がするが、實際徳川時代には是れが女の盡す道であつたのだから仕方が無い、そむくのは最大の惡事、お房も又我儘勝手に家を走つたのは、誠に濟まぬ事と思つて居りますから、ひたすら詫言の傳言を致します、酒半にして鳴右衛門が鳴『是れは僅かばかりの金子ではあるが老後の小遣ひにして呉れる樣に……是れはおつるへの餞別』と善兵衛に金子百兩おつるに二十兩、一寸冗談を言つたばかりで二十兩、只取つた金だから氣前の好いことおびたゞしい、善兵衛辭退したがタッテと言ふから其金を納める鳴『最早時刻に相成つた、こゝは伊豆の下田である、幸ひ月夜でもあるによつて小舟を一艘たろす是れに打乘て下田の宿へ上陸するよう』善兵衛二包みの金を持ち、おつるを連れて小舟に降りますと、船頭は馴染の三内でございます忽ちにして元船を離れる。鶴『あゝ叔父さん』善『何だおつる』鶴『どうも殘念で堪まりません、私は江戸へ歸り度〳〵ありません』善『馬鹿を言つてはいけないお前の親達だつて、ドレ位心配して居るか分らない、無事な顔を見せてやるのが孝行と云ふもの、未練なことを云つてはならぬ、且那樣からお前にお手當が二十兩出た、口でこそ二十兩だが、二十兩と云へば大したお金、夫程御親切な檀那樣お前の事を惡く思ふ氣支はない、仰しやつた樣に必ず江戸へ出て、お前に逢ひなさるに違ひない、能く其の話しを親々にし、俺も又其通りのことを話してやる、親には檀那樣へ一言位お禮を申上げるやうにしなくては、第一俺も濟まぬと云ふものだ』鶴『叔父さん、檀那は屹と江戸で逢つて呉れるでせうか』善『夫れは極まつて居る、武士には二言はない、二枚舌は遣はぬもの、江戸で逢ふと仰しやれば屹とお逢ひなさるに極まつてる』鶴『夫れが本當ならば張合があるがね叔父さん』善『本當とも〳〵』鶴『本當だとすると困ることがある、私の婿が極まつて居るのだから、江戸へ行くと何でも其處へ嫁にやられるのだから、叔父さんの口添へで其婿の方を破談にしてお呉れ』善『夫やアいけない、おまへの婚禮には親と云ふものがある、俺は叔父でそんな故障は出來る筈がない』鶴『無ければ私は江戸へ歸らない、最う一度檀那樣にお目に懸つて……』善兵衛もおつるには實際困らせられた、才智のある人間ならば何とか欺して優しく連れて行かれるが、愚鈍な正直な善兵衛だから融通を利かせることを知らない、此の時一艘の小舟が矢のゐる如く此方へ漕ぎ付けて來る、これは是れ彌左衛門が密かに海上に放ちある探索の船でございますが物に馴れたる三内も此の船には油斷してゐた……。

ラヂオ
…一日（水曜）…
仙臺 JOHK

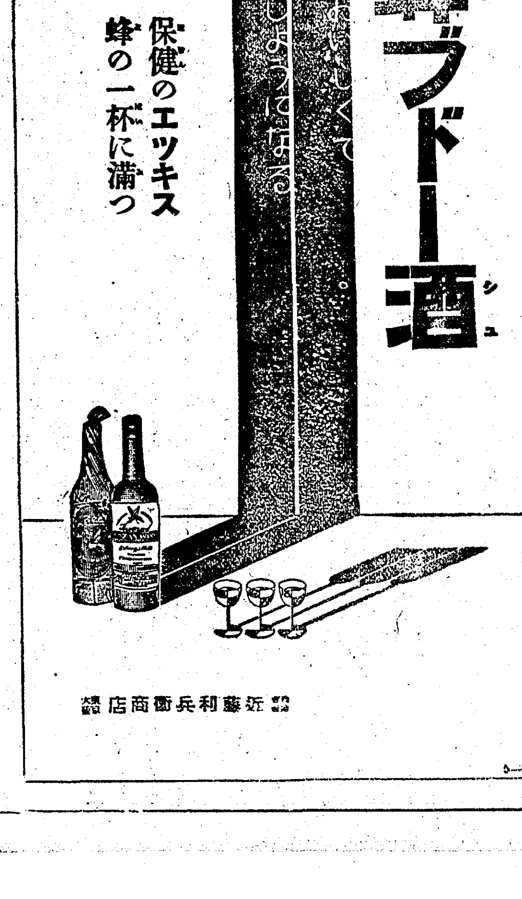
△前六、〇〇A ラヂオ體操
△八、四〇A 經濟市況
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五A 經濟市況
△九、一〇 料理献立（小アジの胡挑酸）東北女子職業學校發表 日用品値段
△九、二〇A 經濟市況
△一〇、三〇A 講演（青年訓練五週年記念に際して！）文部大臣中川健藏
△一〇、五五A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五A 箏曲旅順
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇A 經濟市況
△二、〇〇A 家庭大學講座（論理學）早稻田大學教授中桐確太郎
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A ニュース
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇A（子供の時間）管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
△六、三〇A 英語講座（初等科）岡倉由三郎
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場
△七、三〇A 講演（元コウ國難の回顧）文學博士三上參次
△八、一〇A 琵琶（元コウ）吉水錦翁
△八、五〇B 映畫劇（沈默の愛）帝キネ現代劇部
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項 生繭相場

特賣品
イマズ蠅取粉 二十四錢
片腦油 五十錢
のみとり粉 六十錢
蠅取紙（百枚入）一圓三十錢
ナフタリン玉四個 一錢
白毛染 賣藥 各二割引
毎月第三日曜デーを開き御華客樣の謝恩として平町紺屋町鈴木味噌醬油酒店の（銘酒鶴ケ城五升）並にカフエータヒラ特製洋食二十皿驛前カフエータヒラ奥座敷に於て接待致し居りますから遠慮無く御食事下さい 主人敬白
平町三丁目 宇佐美藥局 電話二〇五番

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ
十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院 眼鏡科 電話十九番

内臓外科 一般 外科花柳病科（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院 電話三〇九

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物 ㊉釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊉の生命なり



石川亭の柳川鍋……六月廿五日より
柳川なべ 三〇錢
柳川なべ（御飯付）四〇錢
柳川丼 三〇錢
鰌汁 一〇錢
美味、滋養、何れも滿點で！夏のシーズンの食物としては斷然一等で御座います。中庭の綠葉が噴水の飛沫を浴びる風情を眺めながら御召上りは又格別と思ひますので……おまちして居ります。
牛鳥肉御料理 平町田町 石川亭 電話四三番

夜間診療
胃腸病 十二指腸蟲病 内科 專門
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門
内科部 外科部
松村胃腸病性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシー
三四三番

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町（電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

特殊の事情を有する石城郡の經濟的地位
參酌按配を誤られぬ樣にと
第二次家屋税調査委員會長 減額要求の理由

郡下各町村に於ける第一次家屋税調査會の決定額に對し第二次家屋税調査會に提出したる縣の修正は他との均衡上些か妥當を欠く節があると云ふので各町村一率に二分五厘の減額方を當局に要求した旨既報の通りであるが右に關し第二次家屋税調査會を全員委員會に移し決議したる減額要求の理由は次の如くである

理由

――當石城郡の經濟的地位は特殊の事情を有するに既に天下周知の事實にして卽ち各種の銀行は軒を並べて破産若くは休業し而も本郡唯一の炭礦は一般事業界の不振に伴ひ極度の不況を來し農山村及漁村も亦是の影響を被むること著し從つて家屋賃貸の現實價は縣下三大都市並に他郡に比し異數の低落と距離あるに至りたるは明白なる事實なりとす依て玆に前年度縣決定額より更に總括的に七分の減額を爲すを以て適當なりと認むる所以なり

附帶決議

――由來縣は本郡の經濟的地位が隣郡に比し優越せりとの見地の下に前年度第二次家屋税調査會の決議に對し一瞥一顧も與へざるの傾向あるは遺憾とする處而して本年度も亦誤りたる前年度案を基礎とし修正提出せられたるは極めて不合理にして洵に忍び能はざる處なり今爰に其一例を示せば双葉郡葛尾村の坪當りは前年度壹圓五拾錢なるに本郡田人村及三ヶ村組合の坪當り貳圓貳錢にして其差坪當り四拾參錢なり而も此兩村の地位は一は伊達郡と境し一は東白川郡と境し郡界の分水嶺に存在する山村たるに於て性質を同ふし其生活狀態と經濟的地位に於いても殆んど伯仲し軒輊あるを見ず然るに一方は高く一方は低く推定せられたる如きは錯誤甚敷ものあるを以つて速かに是を修正し負擔の均衡を計られむことを望む亦更に國縣道に沿へる平面地帶の村落に對する前年度の縣の修正は軌を同ふし公平を失する結果を見たるは遺憾なり試みに之れを列擧すれば

双葉郡木戸村は坪當り貳圓參拾六錢同郡廣野村は貳圓參拾七錢なるに本郡草野村は貳圓七拾貳錢大浦村は貳圓七拾參錢神谷村は貳圓七拾壹錢上小川下小川村組合は貳圓七拾參錢平窪村は貳圓七拾參錢夏井村、高久村飯野村は何れも貳圓五拾參錢內郷村は參圓貳拾九錢磐崎村は貳圓九拾貳錢なり而も木戸、廣野の兩村は現に炭礦の所在地にして出炭しつつあり而して旅人宿、料理店を營み居るものあり生活資料に富める地區と推定し得べく是と對比し本郡の本項の各村は獨り內郷村は炭礦地帶として事情を異にするのみ其他は何れも純農村にして特殊的生活食料を有せざるのみならず殊に磐崎村の如きは曩きに藤原炭礦廢墟の悲運に遭遇し俄然人口戶數の激減を現出し一小學校をすら廢校するの止むなきに至りたる狀況を考察せさる處の縣の修正は頗る妥當を欠きたるものあるを以て更て修正し是に低減せられむことを要望して止まざる處なり、要するに本郡の經濟的地位は他と比し優越なりとの概念に依り一般的に過重なる標準の下に課税せらるるの趣きあるの感あり是れ最も郡民の苦痛とする處なれば來年度は縣に於いて細密に調查し基礎を的確にし負擔の公平を保持せられむ事を望む云々

因に右石城郡第二次家屋税調查委員長井上茂作氏の申し出に對しては縣當局でも夫々攻究研究中なるものの如く觀察さる

簡易保險診療所
大体田町に決定 地主との交渉順調に進む形勢

平町に創設さるる事に決定した簡易保險診療所は大体九月中旬頃開設の見込みで適當の借家を物色中であつたが其筋の註文が案外六つかしい爲に今日迄何等の決定を見るに至らなかつたが最近田町高久病院と中島寫眞館の中間にある空地に目星をつけ地主某との間に交渉を開始した處意外に話しが進んで玆一兩日中に返答に接し得る處迄漕ぎつけたので右決定次第現在の舊建物を撤退し工費豫算五六千圓を投じて新築工事に着手するとの事であるが同診療所は最初醫師一名外に一兩名の職員を置き今後利用者の增加と共に漸次擴張の方針であるらしいと

平町新風景
梅雨は上りぬ 平つ子に相應しい
夏の行樂氣分研究

赤井嶽はあります、湯の岳もないではありません、この地上に齷醍と働く人間がともすれば忘れる自然の偉大と崇高とを敎へる神秘を敎へる山は幾つもあるにはありますがあの晴れた蒼穹を劃る雪のスカイライン。キャンプに星を戴き千古の深谷に雪を踏み、斷崖を攀ぢ處女林を分け、跋渉又跋渉、紫外線に焦げた顏を土産に歸る――と云つた樣な現代的なのが一寸無さそうなんです。

公園や新川端のランデブーがつい此間だと思つてるうちに今年もあすから文月に入つて、三日半夏生、八日小暑、二十一日土用、二十四日大暑と夏はグングン本格的に突つ込んで行きます、丑の日の味覺求眞を鰻から饂飩への節約緊縮が名譽ある平つ子の名折れであるとしましたなら附近に適當な登山場所を有たぬお互はオープンか何かで四倉邊へ飛ばさなくちやあ納まるまいと云ふもんです。

出來る出來ないは其時の拍子として、夏の行樂に關する空想を最大限度に擴げて見ませうか、若し都合が良くて時間と金に餘裕がありましたなら長驅一番小名濱行きも思ひつきです。そして歸りは自動車にする事にしてＳ館かＹ屋邊りに陣取り周圍をカラッと開け放して觀音山の翠嵐を座敷一ぱいに取り入れ豐頰な櫻んぼなんかがはいつてゐる鮑の水貝ででも五臟六腑迄涼しくなる樣な冷たい處を息もつかずに引つ掛けます

快く唸る扇風機のほとりからはチッとりと汗ばんだ湯本美形の甘酸い樣な体臭と金ツルか何かの芳香が馥郁として、やつて來ます、若し夫れ態うした萬斛の凉快を滿喫した事によつて月給の半分を飛ばしちやつた樣な時は二人の赤切符代二十六錢丈けを殘して置いて九時十三分ので歸つて來る迄の事なんです。

鑛産税委讓の 促進團活躍
明一日夫々歸廳

鑛山税の地方委讓が掛け聲ばかりで薩張り埒あかぬのに業を煮やした全國關係各町村長が玆に結束を固めて促進の猛運動を繰り返す事となつた爲小泉湯本町長、金成好間村長の兩名が此程上京した旨既報の如くであるが一行は上京早々關係筋への請願を了し明一日歸廳する筈であると

下水工事落札 平町

共濟病院前排水工事の入札は昨二十九日平町役場で行つたが今三十日開札の結果新川町田中宣治氏に二百九十八圓で落札し數日中に着工する豫定である

創設五周年記念の 青訓生聯合演習
明小名濱權現山台地の壯觀
―南北兩軍大接戰の想定

平、小名濱の兩青年訓練所では明一日の青訓創設滿五週年を記念する爲在軍石城郡聯合分會副會長藤田中尉指導の下に早朝から聯合演習を行ふ筈であるが參加人員は二個中隊編成で藤井少尉の率ゆる北軍と西牧曹長指揮の南軍と相對峙して左記想定の如く順次戰局展開午前十時四十分頃小名濱權現山台地を中心としてまさに白兵戰に入らんとするや小名濱灣頭劉喨たる兩軍統監部の喇叭を合圖に演習を中止し十一時彼我同地小學校庭に集合、君ヶ代合唱、閱兵、分列、講評(曾我聯合會長)祝辭等あり會食の上一時終了の豫定であると

北軍(平)想定

敵の永崎港上陸を妨害し友軍支隊の小名濱平野進出を容易ならしむ可き任務を有する平青訓隊(二ヶ中隊)は平―綴―湯本道を西進し七月一日午前七時五十分其步兵尖兵の先頭を以て湯本町東南端鐵道踏切附近に達す

この時までに平青訓中隊長の知り得たる情況左の如し

一、友軍飛行機よりの通報によれば敵の運送船二隻は今拂曉永崎灣沖合に現はれ上陸を企圖すれども風浪激しく意の如く進捗せざるものゝ如し

二、小名濱方面よりの土民(魚業商人)の言によれば敵の徒歩兵約二三十名は諏訪神社附近より避病院に亘る江筋堤防上に右往左往するを見又水押權現山台地一帶には相當多數の敵兵あり目下旺んに何やらを工事中なりと

三、又他の通行人の言によれば玉川村大原、原木田村落には犬の咆吼を聞き部落民は三々五々北方山地に移動するを見受けた

りと

南軍(小名濱)想定

一、湯本町を占領すべき任務を有する南軍支隊は七月一日未明より永崎港に上陸を企圖中なり

二、南軍支隊の上陸を掩護すべき任務を有する小名濱青訓隊(一ヶ中隊)は七月一日午前八時小名濱小學校に全員の集結を了せり

この時までに小名濱青訓中隊長の知り得たる狀況左の如し

一、小名濱青訓隊所屬飛行機よりの通報によれば敵の步兵約二ヶ中隊は七月一日午前七時五十分其步兵尖兵の先頭を以て湯本町東南端鐵道踏切附近を通過南進せり

二、平―鹿島―より小名濱に通ずる道路及其以東には未だ敵兵を認めず

三、湯本方面よりの自動車運轉手の言によれば今より約三十分前湯本町停車場附近に敵の步兵現はれ町民間には流言蜚語旺んに行はれ不安混雜の有樣を目擊せり

四、又野菜商人の言によれば野田、住吉附近の住民は戰々兢々とし老人婦女子は目下鹿島方面に避難中なりと

今年最初の暑さ
小名濱測候所の觀測

梅雨も明けぬに一兩日來ひどく暑い、昨二十九日は今年になつて初めての暑さで平均溫度二十度八最高二十八度二分に上り既往二十ヶ年平均の十八度六分からズンと上つてゐる、(小名濱測候所觀測)今三十日は海の方から風が吹いてゐるので昨日程には上らぬが其れでも仕事をするのに上衣などは着て居られぬ位さである、測候所の小磯所長さんは語る

きのふけふの全國的暑さは、小笠原にある高氣壓が比較的優勢なためですこの暑さは二三日續くでせう、今年の梅雨は雨量は相當ありましたが長雨でなかつたので空梅雨とも見えますこの分で行くとあるひはもう梅雨の氣配はないかも知れませんがそこの處が一寸はつきり致しません』云々

豊間漁業修築は 來十五日頃起工
―三萬圓の巨費を投じ 同村が自力で完成

二十萬圓の巨費を投じて修築を計劃された豊間漁港は不幸にして今年度着工の指定港とならなかつた爲同村が自力を以て之れを完成する事となり曩に某方面から三萬圓の低利資金を借り入れ其筋の工事施行認可指令を鶴首してゐた處最近愈々玆一兩日中に指令に接する見込が確立したので大体來十五日着工の豫定で計劃を進めてゐると

差押物件 公賣處分
滯納整理に惱む 小川江筋組合

小川江筋組合の組合費徵收成績は從來頗る良好で之種團体中嶄然異彩を放つてゐた處最近の農村不況から五年度に於て五十餘名の滯納者を出すに至り之れが整理督促に腐心してゐるが來七日午前九時から平町團体事務所で差押へ物件の公賣處分を行ふと

濱通町村長參集
明後二日平町で
知事の傳達指示を受く

川崎本縣知事は明後二日午前九時から平第三小學校に於て濱三郡各町村長八十二名の參集を求め過般の地方官會議に於ける各種事項の傳達及指示訓示を行ふ筈で知事が萬一臨席出來ぬ場合は金森內務部長が代つて臨席するものと觀られてゐる

各濱の大漁續き
鰹は遂に三割五分に下る
處分に困る狀態

郡下に於ける今年度の鰹漁獲は近年にない豐漁で小名濱に於ける昨二十九日の水揚相場は鰹三割五分、鯖十八貫入一樽三十五錢で未曾有の最低記錄を作つた外其他魚族の漁獲も平年よりは多いと言ふので各濱一帶活況を呈してゐるが江名町に於ける今年度の鰹漁獲高は同町澤辰之助氏の一萬圓を最高に盛厚丸九千圓、盛勝丸、德榮丸、電成丸、諏訪丸の何れも七千圓程度で其他十四艘の鰹船は五千圓乃至六千圓の漁獲があつたと

敗殘の老ルンペン
世の無情をかこち乍ら
玉川の行旅病舍に逝く

山梨縣北都留郡岩間村居住小名濱町生れ菅野德太郎(五七)は最近寄る年波に働く事が出來なくなり食ふや食はずの生活をしてゐたが郷里の親戚を賴つて遙々尋ねて來たが力にする程見ても貰へず彷徨中二十八日午後二時頃玉川村地內で持病の心臟病が嵩じて行倒れ同村役場で行旅病人として收容手當の效無く昨二十九日死亡したと

チフス續出
飲食に注意せよ

昨今陽氣の變り目に際し腸チブスが流行し始め今三十日平署に屆出た新發生のみでも左の五名に達し連日五六名を下らぬので同署では特に飲食物に注意を拂ひ近く牛乳、清涼飲料の一齊檢査を行ふ筈であると

△湯町三函裏町原田チヱ(八)同原田秀雄(一八)△玉川村岡小名作六門馬晴虎(二八)△南町二四片寄利夫(三)△二丁目一三小濱榮助(一七)

平女子青年團
負擔金醵出協議

平女子青年團總會は昨二十九日午前十時から平館で開催し女子青年會館建設費百萬圓の醵金分擔に就き協議した結果一人五十錢宛五ヶ年に亘つて寄附する外近く活動寫眞會を主催して之れに充當する財源を造る事に決定した

安全週間 宣傳行事
古河礦の日程

好間村古河炭礦では明一日から一週間の安全週間に次の如き日程で之が主旨宣傳をなすと

(一日)從業員の安全宣傳旗行列(二日)整頓(三日)安全に關する講話(四日)衛生デー(五日)安全宣傳の扁引(六日)係官の巡視(七日)生活改善、衛生料理講話

十五の小娘
前借を踏んで逃ぐ

赤井村沼作中村勇吉は本年一月中磐崎村小野田炭礦坑夫渡藤忠助を保證人とし內郷村綴人事周旋業瀨戶吉左衛門の手で妹きみ(一五)を千葉縣千葉郡一の宮町龍台飲食店林龍之助方へ前借五十圓で住み込ませたが當人は二日ばかりで同所を逃走し行衛を晦ましたので其筋へ捜査方を願ひ出てあつた處最近勇吉方へ舞ひ戻つてゐるのを龍之助が聞き込み今三十日平署へ詐欺の告訴をした

投身自殺?
◇女房殺しの行衛

昨報、野良稼ぎ中妻を殺して姿を晦した久の濱町鈴木藤太郎養子鈴木一三(三四)は未だに發見されぬが二十八日夜同地海岸から激浪中に投身自殺を遂げたらしいと云はれてゐる

馬目店員訴へらる

東京府北豐島郡瀧野川町瀧野川稻葉幸一郎は內郷村竹ノ內馬目酒店方安齋傳次郎を相手取り今三十日平署に詐欺の告訴を提起した。本件はその何れに屬するか不明であるが最近往々相互の貸借關係を詐欺、橫領などの名目で訴へ出で警察署を惡用する向が少くないので係官は特に之種のものに注意を拂つてゐる

海岸の大立廻り 小名濱

町船問屋野崎貞行は一昨二十八日午後七時頃些細な事から同町船引場坂本一と激論の末矢庭に鐵拳を揮つて一の頭部を毆打したが側で見て居た同町馬上保壽も貞行に加勢し一を毆り付けて全治二週間の負傷を與へたので目下平署で取調中

四倉繭市況

白繭總貫數七百一貫、最高三十二圓五十錢、最低二十八圓二十錢、買馴三十圓二十錢、黃繭總貫數百五十一貫、最高三十二圓、最低二十八圓二十錢、買馴二十九圓(二十九日)

平町人事

△出生
杉平一九宮城縣仙臺市材木町五二木戶太郎三男巖
堤ノ內二〇鈴木正吉長女節
白銀町三六小林利光四男達雄

死亡
白銀町三五新潟縣北蒲原郡原ヶ瀨村稻島六四九菅井廣吉(七五)

愈々皆々樣御期待の
關東浪曲界の代表者
天下一品之美音な
木村友衛師一行
(◎明七月一日二日貳日間)
午後五時花火合圖開場
◎前賣券到處ニアリマス……後援平友衛會
◎是非前賣券御利用下サイ
聚樂館

更衣
霜降通學服安賣
小學生用 35錢より
中學生用 170錢より
モリタヤ洋品店
5丁目電353

貸切は●●
親しみあるサービスを以つて知られたる!
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤正路